

『労働条件』

～生き残りことについての疑わしい思想～

すべては利益の問題
食うか食われるかだ

穏やかな波の下には
見せかけの調和と平和があるかのように見える
しかし、真実
海は弱者を食い物にする陰謀が渦巻く血の狩猟場

資源を確保するために競い
食べるために戦う

それは疑いもなくジャングルであり
誰もがそれを潜在的に気づいている

敵と味方を見分ける術を学ぶことだ
誰もが前触れなしに

価値を認められることなく
瞬時に首を切られることもあるのだから

悟： (嘆息) これは、ずいぶん悲観的だなあ。

ティン： 一般的な考えでは、これが現実ね。つまり、消費あるのみ。

玲亜： もっと世の中がよくなる方法があればいいのだけど。

ミン： ちょっと無理かな。宗教までがお金儲けとなりうる時代、賛美歌も祈ることも無意味に思えるけど、必要であればどんな場合も勇気を持って正しい選択をする英雄になることもできるでしょう。

ティム： 私は実際には英雄になてなれない。たくさん欠点のあるただの普通人間だから。時々、私は人間なのかどうかと思うことがある。私の心の中に様々な生物の形態を、感じるんです。

悟： 皆同じだよ。それにこの詩はセルゲイ・ドヴォラトヴやウィリアム・ゴールディングを、私に思い出させます。

- T Newfields (和訳 吉田典子)

開始： 1994年 静岡市・完成： 2019年 横浜市

